

平成30年度西尾市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

【事業①-1】タクシーサービスの利便性向上・活性化
<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度を新設し、「ユニバーサルデザインタクシー」の導入を促進する。 ・タクシーを活用した高齢者や障害者の移動支援を引き続き実施するとともに、観光での活用についても検討する。
【事業①-2】いこまいかのサービス設定等の見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月に目的地を拡大した吉良地区においてモニタリングを実施する。 ・事業者等との協議により、他地区における目的地拡大の可能性を検討する。
【事業②-1】鉄道の維持・活性化
<ul style="list-style-type: none"> ・「西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団」を中心に利用促進活動を実施する。 ・西尾市・蒲郡市の関係団体からなる「名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会」において、駅を拠点にしたマップの作成やレンタサイクル事業を実施し、沿線の魅力アップにより県内外からの誘客を推進する。
【事業②-2】バスセンターの整備
<ul style="list-style-type: none"> ・一色地区における乗継拠点として3路線を集約した一色町公民館において、乗継利便性向上のため乗継案内看板の設置等を実施する。
【事業②-3】バス交通の再編、【事業②-4】新たな運賃体系の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・バス交通再編のためのニーズ調査等を行い、次年度の再編実施に向けた方針を決定する。
【事業③-1】西尾市地域公共交通活性化協議会による事業管理とPDCAの実施
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度が計画期間(平成28年度～32年度)中間年となるため中間評価を実施する。 ・再編方針の決定に伴い、各路線の運行維持評価基準を設定する。
【事業③-2】地区公共交通協議会の設立、運営
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きこれまでに設立されている地区の運営支援を行うとともに、幡豆地区において新たに協議会が設立されたため、地域と行政の協働により、幡豆地区の公共交通改善案を検討する。
【事業③-3】情報提供(公共交通マップ、乗継情報等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の各公共交通機関を網羅したマップ・時刻表を作成する。 ・バスの運行ダイヤ情報を乗継情報コンテンツプロバイダーに提供し、スマートフォン等での検索を可能とする。
○その他事業
<ul style="list-style-type: none"> ・西尾市地域公共交通計画に定めるその他事業についても検討を進め、可能な施策から実施する。 ・六万石くるりんバス利用者100万人達成記念事業として、無料乗車期間を設定しPRを行う。

地域内ライダーシステム事後評価要約版(29年度)

支局 No.	自治体・協議会名		二次評価
	事業概要	自己評価	
	西尾市地域公共交通会議		
愛知	5	いこまいかー(デマンド型乗合タクシー)	<p>地区協議会を設立して、市民・行政・事業者が協働すること で、一色地区コミュニティバスを運行開始し、地域によるバス 停への屋根・ベンチの設置や町内会での回数券購入、乗り 方教室の実施などの取り組みを行ったことは評価します。</p> <p>一方、デマンド型乗合タクシーについては、利用者に偏りが あったため、地区ごとにいこまいかーを利用した具体的なお でかけ方法の案内やパンフレットの配布等により利用促進を 図ったが、全体利用者数は目標値を達成できなかったことか ら、地域住民との協働によるさらなる利用促進策が必要で す。</p> <p>今後は、隣接市との地域間幹線(鉄道・バス)の見直しや、 市内コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの乗り継ぎ利 便性を含めた議論が展開されるよう期待します。</p>
		<p>【いこまいかー全体利用者数】 (目標)1,262人(実績)1,005人 達成率:80%</p> <p>【補助対象系統利用者数】 (目標)958人(実績)831人 達成率:87%</p> <p>利用者数の年10%増加を目標としたが、前年を下回る結果となった。利用の内訳は特定の利用 者・地域に偏っており、頻繁に利用していた方が離れたことにより全体の利用者数が減少してしまっ た。</p>	